

2022年8月25日
事務連絡

事業所ご代表 各位

橋本・伊都在宅医療介護連携事業

－VR 看取り研修－のご案内

残暑の候、皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度 在宅医療・介護連携支援事業といたしまして、施設での看取り研修を下記のとおり開催することとなりました。

厚労省の報告によりますと、2015年の死亡場所は医療機関 77%、自宅約 13%、老健・老人ホーム等約 9%となっています。和歌山県では、年間の死亡数が最も多い2040年(全国)を待たずして、死亡数は出生数の2倍以上の 1万2775人/年 で、ここ10年は1万2千人台で高止まりとなっています(2020.4.1)。また、住み慣れた自宅で最期まで療養したいという方は 1割程度ですが、自宅で療養して必要になれば医療機関を利用したいという方が国民の 6割まで増えてきていると調査報告がありました。

今回の研修は、施設での看取りを強要するものではなく、看取り期の利用者様やご家族への対応について理解し、利用者様の期待に応えられる施設について自施設で深めていただければと企画いたしました。

コロナ禍で病院への看取りの方の搬送も難しくなっています。なるべく多くの方に参加いただき、当地域全体で看取りについて一緒に考えていけるよう貴事業所様の参加をご検討ください。

橋本・伊都 在宅医療・介護連携支援センター

☎ 080-2520-6078

Fax 0736-33-1924

Mail itosaposen@ito-med.or.jp

橋本・伊都在宅医療介護連携事業

－VR 看取り研修－

開催日時 : 2022年10月27日(木) 14:00～17:00

場所 : 九度山町 ふるさとセンター5F 大ホール

目的 : 居宅での看取りについて理解し、自施設でのあり方を考えることができる

目標

- ・看取りを経験したことが無い介護職の看取りに対する不安感・恐怖心を払拭する。
- ・本人の意思を尊重した看取りに必要な基本知識と心構えを得る。
- ・家族の間で意見が分かれてしまった際にはしっかりと本人の意思を代弁する役割も持つことを知る。
- ・認知症がある方へも ACP が可能であることを知ることができる。
- ・介護職として施設で看取る上でできることをイメージする。

内容 : VR で看取りケア体験 ドキュメンタリー視聴とミニディスカッション
認知症に関する VR 体験も行います

申込対象

(優先) 貴施設のリーダーもしくはリーダーを目指している介護関係者の方
特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・サービス付き高齢者向け住宅・
有料老人ホーム・ケアハウス

医師会・歯科医師会・薬剤師会・訪問看護・消防救急隊 他

各施設2名(可能でしたら2名出席いただきたいところですが、1名しか出席できない場合でも申し込みいただけます。)

募集人数 : 50名

- ・予定人数を超えた場合は抽選となります
- ・到着順に番号を付け前田先生、各市町地域包括支援センター立会いの下抽選

申し込み等

①申込用紙に必要事項を記載しサポセンに mail < itosaposen@ito-med.or.jp >
9月16日(金) 16:00 までに申込してください。10月1日までに Mail で決定のご報告をさせていただきます。

②参加者には、参加標・注意事項・プログラムをメールで送付いたします。当日参加標を記入しご持参ください。(新型コロナウイルス感染症発生時に使用いたします。その他の理由で使用することはありません。)

参加費用

無料(1名につき10,000円の費用は、連携事業運営費で負担いたします。)